

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年2月15日（木）

2 確認箇所

高温焼却炉建屋東側

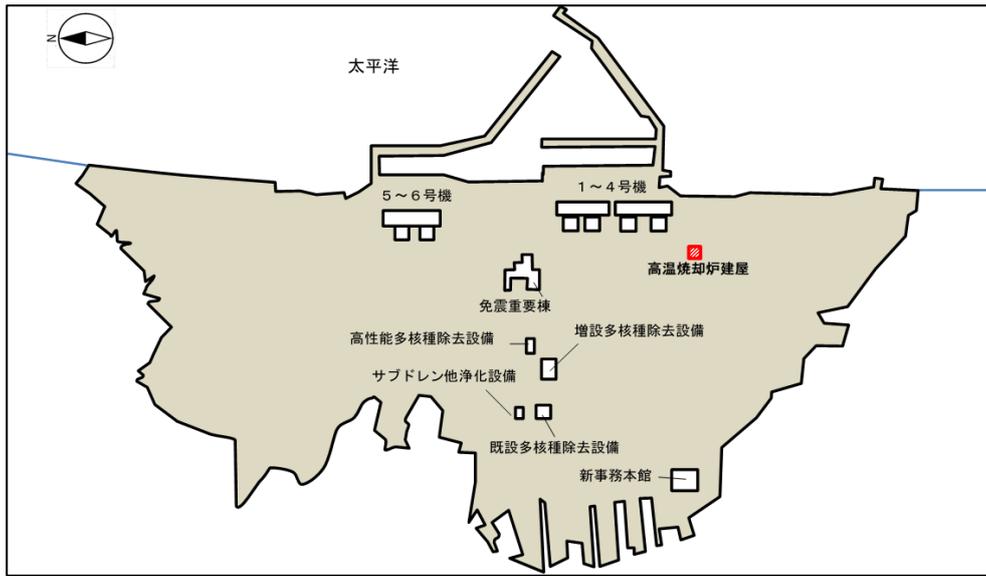
3 確認項目

高温焼却炉建屋東側壁面配管からの水の漏えいの対応状況

4 確認結果の概要

令和6年2月7日に発生した高温焼却炉建屋（以下「HT I 建屋」という。）東側壁面の配管（第二セシウム吸着装置に接続する水素ガス排出用の排気管）からの放射性物質を含む水の漏えい事象の対応状況を引き続き確認した。なお、当該事象については、これまで漏えい箇所直下コンクリート盤におけるポリウレタ吹き付けによる放射性物質の飛散防止、コア抜きによる汚染状況の調査、コンクリート盤周囲の砕石土壌の撤去等が行われたことを確認している。（図1）（前回確認：[令和6年2月14日](#)）

- ・ 漏えい箇所直下のコンクリート盤を撤去する作業が行われていた。撤去範囲はHT I 建屋東側壁面から東に2 m程度とのことであり、コンクリート盤をコンクリートカッターで切り、ブロックごとに抜き取る工法で行うとのことだった。
- ・ コンクリートカッターでコンクリート盤を切る作業が行われていた。（写真1）
- ・ コンクリート盤撤去範囲境界において、コンクリートカッターで切れない部分のコア抜き作業を行っていた。（写真2）
- ・ HT I 建屋東側には地下にK排水路が通っているが、放射性物質がK排水路に入ることを予防するため、この部分の水をバイパスさせるための準備工事が行われていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
コンクリートカッターでの作業状況
1 (南東側から撮影)



(写真1-2)
コンクリートカッターでの作業状況
2 (南東側から撮影)



(写真2)
コア抜きの状況 (北東側から撮影)



(写真3)
K排水路バイパス工事の準備状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。